



- 当初予算 主な公約・重点事業…2～5面
- 65歳以上の人の介護保険料・後期高齢者医療保険料が変わります ……7面
- 市民ガイド ……9～11面

市公式携帯サイト 無料メルマガ配信!  
松山Smile通信 検索

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/  
市勢 平成24年3月1日現在推計(前月比) ●面積:429.05km<sup>2</sup> ●人口:516,684人(-139) ●男:241,070人 ●女:275,614人 ●世帯数:226,046世帯(-47) ●一帯の平均:2.29人 ●人口密度:1,204人/km<sup>2</sup>

# 総額3,622億3,552万円

## 選択と集中で にぎわいと活力に満ちたまちづくり

### 一般会計

本市の平成24年度当初予算が3月定例市議会で決まりました。総額は3622億3552万円となり、一般会計は1731億2000万円です。前年度に比べ0.59%の増となっています。厳しい財政状況が続く中、事業の「選択」と「集中」により、にぎわいと活力に満ちたまちづくりを推進するための予算編成となっています。(2～5面 関連記事)

下水道会計が約254億円、水道会計が約155億円、工業用水道会計が約9億円、簡易水道会計が約6億円となっています。

区分	予算額	対前年同期伸率
一般会計	1,731億2,000万円	0.59%
特別会計	1,267億3,550万円	7.02%
企業会計	424億9,752万円	5.87%
合計	3,423億5,302万円	3.53%
公債管理会計	198億8,250万円	5.86%
総合計	3,622億3,552万円	3.66%

●歳入 歳入の主なものは、市税が前年度と同額の600億円、次いで国庫支出金の約335億円(同8.1%減)、地方交付税が約216億円(同1.8%増)と続いています。

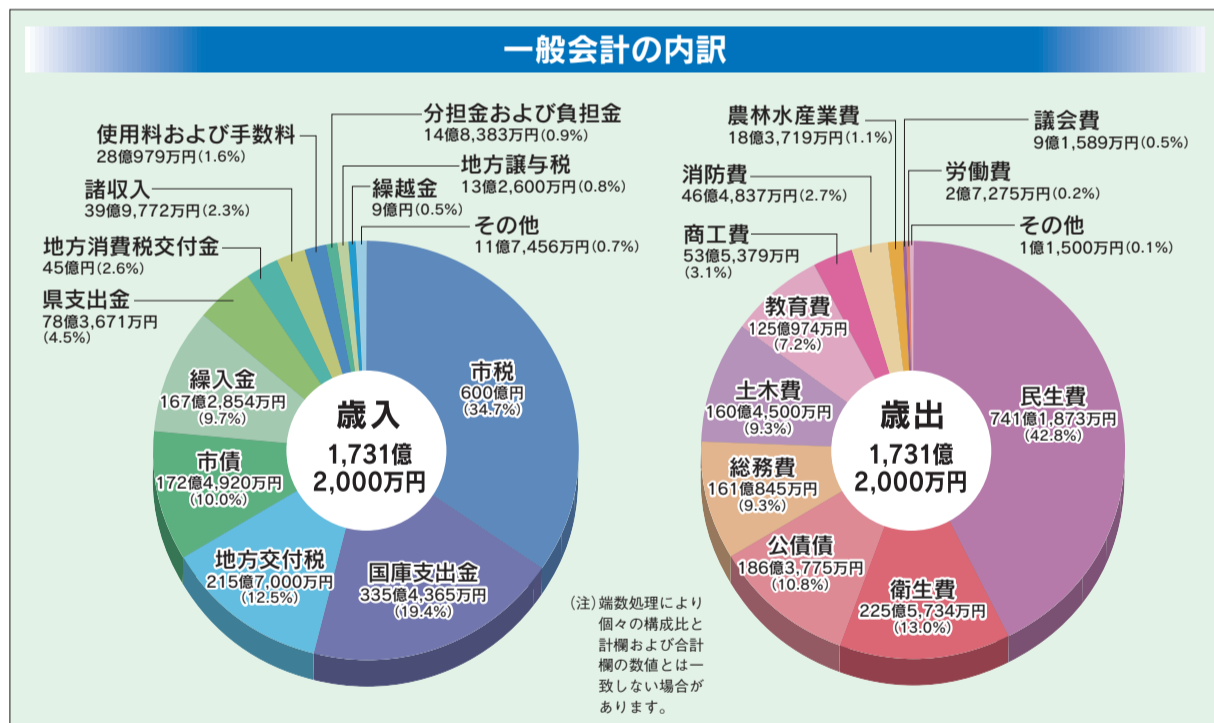
●歳出 歳出の主なものは、民生費の約741億円(対前年度比1.2%増)がトップで、新たに島しょ部に居住の妊婦の人が健診や出産のために航路を利用した場合の全額助成を開始するなど、安心して子育てができる環境づくりを進めます。次いで衛生費の約225億円(同0.5%増)、公債費の約186億円(同3.0%増)などとなっています。

### 特別会計

特別会計の主なものは、国保会計が約540億円、介護保険会計が約392億円、競輪会計が約258億円、後期高齢者医療会計が約54億円などとなっています。

### 企業会計

企業会計の主なものは、



保存してください。いつかまた お役に立ちます

## 市長所信表明 (要旨)



3月定例市議会で所信を表明する野志市長

平成24年度の予算編成におきましては、これまで取り組んできた『坂の上の雲』のまちづくりを継承しつつ、より高い目標に向かって「たからみがき」のまちづくりを目指してまいります。

松山の宝は先人たちが、先輩たちのおかげで数多く見つかっています。全国に誇れる、これらの宝を磨いていくことが私たちに課せられた責務だと思っています。この「たからみがき」という言葉は、これからのまちづくりの重点的な取り組みをキーワードとして表現しています。

「旅の魅力」を磨いていくことです。新たな観光戦略のテーマとして掲げているのが「瀬戸内・松山」構想です。瀬戸内海を隔てる海ではなく、「つなぐ海」と捉え、広島地域の資源と松山の資源を有機的に組み合わせ、磨き上げることに、新しい観光振興策を推進してまいります。

「風早レトロタウン構想」の推進です。「昭和のにぎわいを求めて」というテーマのもと、北条の誇る地域資源である鹿島、JR北条駅前通りの活性化に取り組み、北条地域全体の振興を図ります。

「愛ランド里島構想」の推進です。「暮らしや

### 「たからみがき」のまちづくり

「たからみがき」のまちづくりは、松山城や堀之内の景観を望むことができる市民の宝ともいえる花園町通りの潜在的な魅力を最大限に発揮するため、自動車が通行する車線を減少させ、生み出された空間を歩行者や自転車、歩行者が快適に通行できるように、屋台や芝生広場などの用途に適切に配分し、路面電車やイチョウ並木などを活かすことにより、風情のある道路空間の創出を目指します。

「気持ちは、前向きな発想からは、いろいろなものが生まれてまいります。これからのまちづくりには、市民の皆さんに前向きな気持ち、そして松山に愛着や誇りをもっていただくことが何よりも大事だと思っています。

いずれの取り組みにつきましても、地元の方々としつかりとお話しをしながら、より良い取り組みにしていきたいと考えています。

すい島、市民の第二のふるさとがあるがままの心地よさを「コンセプト」とし、今後10年間にわたる島しょ部の活力再生や持続的発展を目指します。

「三津の朝市の活性化」です。市民の皆さんや観光客が集いにぎわう観光交流拠点を水産市場の敷地内に整備するとともに、三津浜の歴史と文化に触れることができるような機会を提供でき、動線づくりに取り組んでまいります。

「街路整備」です。松山城や堀之内の景観を望むことができる市民の宝ともいえる花園町通りの潜在的な魅力を最大限に発揮するため、自動車が通行する車線を減少させ、生み出された空間を歩行者や自転車、歩行者が快適に通行できるように、屋台や芝生広場などの用途に適切に配分し、路面電車やイチョウ並木などを活かすことにより、風情のある道路空間の創出を目指します。

「気持ちは、前向きな発想からは、いろいろなものが生まれてまいります。これからのまちづくりには、市民の皆さんに前向きな気持ち、そして松山に愛着や誇りをもっていただくことが何よりも大事だと思っています。

いずれの取り組みにつきましても、地元の方々としつかりとお話しをしながら、より良い取り組みにしていきたいと考えています。